

今年度第6号のメールマガジンをお届けします。

中学生の皆さんへ県立高等学校の魅力ある取組など有意義な情報をお伝えしますので、ご活用ください。

今回は10の高校の情報を掲載しました。来月には、高校入試のための第1回志願者予備調査の結果が発表されます。皆さんが自分の進路を考えるための一助となれば幸いです。

公立高校ガイドブック、前期選抜入試に必要な志願理由書、平成25年度宮城県公立高等学校入学者選抜一覧などの情報は、上記の高校教育課のホームページを御覧ください。

<それぞれの公立高校ホームページはこちらから>

⇒ <http://www.pref.miyagi.jp/kyouiku/school/koukou.htm>

■ もくじ ■

1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について

(1) 公立高校文化祭日程一覧

2 高校の特色ある取組（各高等学校からの情報）

(1) 白石工業高等学校 設備工業科

<クラフトマン21事業を活用した熟練技能講習会について>

(2) 佐沼高等学校

<貫け、文武両道。夢実現は佐高から。生徒みんな夢咲こう！>

(3) 石巻工業高等学校

<地域に開かれた学校をめざして>

(4) 名取北高等学校

<『恵方巻き』で親睦と進路達成祈願を><餅つきで親のパワー全開>

3 学校紹介スペシャル（各高等学校からの情報）

(1) 築館高等学校

<栗原の元気は築高から！！>

(2) 石巻好文館高等学校

<好文好武で明日を拓き夢実現へ>

(3) 石巻商業高等学校

<学校紹介>

4 コラム（各高等学校からの情報）

（1）仙台東高等学校

＜新ALTと留学生を迎えて＞

（2）中新田高等学校

＜勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり楽しもう！！

――恵まれた自然環境・施設、盛んな学校行事・部活動＞

（3）水産高等学校 教諭 亀山 貴一

＜東日本夢の架け橋プロジェクト in America ＞

5 編集後記

■ 1 平成25年度入試に向けた公立高校情報の提供について ■

メールマガジン以外にも、公立高校のさまざまな情報を提供していきます。

□（1）公立高校文化祭日程一覧

今年もすでに公立高校の半数以上の学校で文化祭が開催されました。

今後は10月中に開催される学校が多くなります。是非足を運んでみて下さい。

生徒が中心となって、文化部のステージ発表や展示発表、模擬店の開催など、各学校とも趣向を凝らしたイベントが行われます。普段の学習生活だけではない、校内での活動を知る絶好の機会です。

高校教育課のホームページに、開催日時の一覧を掲載しています。

→ <くわしくはこちら>

<http://www.pref.miyagi.jp/koukyou/2012manabi/Bunkasai List.pdf>

■ 2 高校の特色ある取組 ■

宮城県の高等学校の特色ある取組についての情報を紹介するコーナーです。

□（1）白石工業高等学校 設備工業科

｜ <クラフトマン21事業を活用した熟練技能講習会について>

設備工業科では、ここ5年間の間、設備工事関係の企業や団体において、熟練技術や技能を持った方に、直接ご指導いただく熟練技能講習会を開催してきた。

初年度と2年目は、宮城県ダクト工事業会の会長である伸栄工業株式会社社長の高橋文夫様はじめ従業員の方々にダクト加工技術を教えていただいた。

3年目と4年目は、地元白石市の株式会社エコー設備工業工事部の武田朝生係長を中心にして、3級配管技能士の実技試験の課題を詳しく教えていただいた。

5年目の今年は、『冷凍空気調和機器施工（冷凍空気調和機器施工作業）』の3

級技能検定の実技試験を題材に、宮城県冷凍空調設備工業会の方々に、冷凍機の仕組み、冷凍空調業界の現状、2級技能検定資格などの講義、冷凍技術機器の実技指導としてエアコンなどの冷媒配管、配線、気密テスト、試運転などを実践指導していただいた。

その効果としては、いずれの講習会も実技作業であり、学校の実習では得られない内容が生徒達に興味を抱かせ、熟練技能者の生の声を聞きことにより、資格取得に対する意欲や進路を考えさせるきっかけになった。今後も、設備工業界のご協力をいただきながら、生徒がものづくりに興味関心をいただき、達成感が得られるような講習会を進めていきたい。

→<ホームページはこちら>

<http://shiroishi-kougyou.myswan.ne.jp/mein.html>

□（２）佐沼高等学校

└ <貫け，文武両道。夢実現は佐高から。生徒みんな夢咲こう！>

今年110周年を迎えた佐沼高校は、「文武両道」の校是のもと、生徒一人ひとりがそれぞれの進路目標に向かってひたむきに学習や部活動等に励んでいます。昨年度の国公立大学合格者は61名、卒業生の93%が各自の進路を決めました。また、今年もインターハイや全国総合文化祭に数多くの生徒が出場しました。

◇取り組み1「学習面」

- ①毎日45分×7時間の授業を行っており、英語・数学・国語の各教科には特に力を入れています。また、少人数や習熟度別編成による授業も行っています。
- ②全学年対象で、年間を通じて月に2回程度「土曜課外」が行われます。夏、冬の長期休業中の課外、3年生の県総体終了後から行われる毎日2コマの「放課後課外」など、授業に加えて応用力をつけるための課外講習があります。
- ③1・2年生を対象に実施する「学習合宿」では、仙台から予備校の講師を招いて「予備校連携課外」が行われます。

◇取り組み2「部活動」

- ①今年度の県総体では多くの部がベスト16以上となり、好成績を残しました。
- ②新潟県で行われたインターハイに、ボート競技部が女子ダブルスカルで、陸上競技部が男子棒高跳びで出場しました。
- ③富山県で行われた全国総合文化祭に、美術部と箏曲部が出場しました。

◇取り組み3「学校行事（佐高三大行事）」

- ①「陸上大会」（4月25日）では佐高生が校訓の「献身」・「窮理」・「力行」の3組に別れ、熱気と歓喜に満ちあふれる中、「至誠」杯奪取を目指し熱戦を繰り広げました。
- ②「球技大会」は2日間の日程（7月3日・4日）で行われ、各クラスが各種目の優勝を目指し熱戦を繰り広げました。今年は、1年生の善戦が光りました。
- ③「佐高祭（文化祭）」は8月25日・26日に実施しました。26日には地域の東佐沼中央商店会とコラボした「にぎわい市」が行われ、クラス毎に工夫を凝らして制作した「みこし」が学校の周辺を練り歩きました。また、校内の特設会場では、地域の「和太鼓」等のグループの方々が、演奏を披露し佐高祭に

華を添えてくれました。

◇取り組み4「生徒のがんばりを支える環境」

- ①職員室前の廊下には机・椅子が並び、手元を明るくする照明があります。今は受験を控えた3年の多くが、早朝から放課後遅くまで自学自習しています。分からないところは、積極的に先生方に質問する姿も見られます。
- ②通学手段として大きな役割を果たしているものに市民バス（100円バス）があります。朝の通学時はもちろんのこと、部活動後の下校時（19時台）にも運行され、多くの生徒が利用しています。

→<ホームページはこちら> <http://sanuma.myswan.ne.jp/>

□（3）石巻工業高等学校

└ <地域に開かれた学校をめざして>

本校は、地域に開かれた学校を目指し、夏休み中に石巻市「夏休み学び教室」に会場を提供しました。また、同じく夏休み中に「みやぎ県民大学学校開放講座」を行いました。

「夏休み学び教室」は、地域の児童に落ち着いた学習環境を提供し、自主的な学びを支援することを目的に石巻市教委が実施したもので、8月6日から10日の5日間でのべ小学生684名・中学生274名の参加があり、暑い中ではありましたが学び相談員の指導の下、真剣に学習に取り組む様子が見られました。

また、「みやぎ県民大学学校開放講座」は、化学技術科が本校の充実した施設設備を使って地域の方々に化学実験を体験してもらうことを目的として開設しました。

3日間の講座で、「不思議な石—光触媒」「環境をはかるには・ミクロの世界を見てみよう」「化学実験の楽しさ」の3つの実験を行いました。受講生は、普段触れることのない電子顕微鏡や発光分析装置などを興味深そうに操作していました。

今後も、地域に貢献する学校として様々な行事に取り組んでいきたいと思っています。

→<ホームページはこちら> <http://ishiko.myswan.ne.jp/>

□（4）名取北高等学校

└ <『恵方巻き』で親睦と進路達成祈願を>

3学年PTA行事で生徒、先生及び保護者共同で恵方巻き作りをします。11月1日（木）のLHRで実施します。廊下に机を並べて作ります。どれだけ長く作られるか、クラスの団結と親子の親睦度が試されそうですね。楽しみです。

できあがったらまず生徒保護者の記念写真撮影、そして会食となります。皆で作ったものなので味も一入（ひとしお）・・・のはず！報告は本校ホームページに掲載予定です。

こういうアイデアはすべて学年主任の発案。親子で何かに取り組むことが少ないので試みたかったとのことでした。また『恵方巻き』文化は仙塩、仙南地区にはなかったもののようです。異文化？を知るいい機会にもなるでしょう。

＜餅つきで親のパワー全開＞

北高祭では保護者が毎年餅つきの実演と販売をしています。今年は快晴で観客も多くお父さんの杵(きね)を持つ力も例年より強かったかも。校長先生も一臼つきました。

つきあがったもちはお母さん方が次々に調理していきます。今年はきなこ餅とあんこ餅でした。保護者は他に喫茶店も出しました。お菓子と飲み物の販売です。呼び込みもして盛り上がりは生徒以上かもしれません。

生徒はこういう活動に無関心を装ってしっかり見てるものです。いい教育活動になったと思います。様子はホームページに掲載しております。

地域に根ざした学校作りをめざす本校にとってちょっとうれしい行事の一コマでした。

→＜ホームページはこちら＞ <http://natorikita.myswan.ne.jp/>

■ 3 学校紹介スペシャル ■

高等学校の特色ある取組を含めて学校の取組全体をくわしく紹介するスペシャルコーナーです。

□ (1) 築館高等学校

| <栗原の元気は築高から!!>

＜学校の概要＞

本校は、2005年（平成17年）に前身校の伝統を受け継ぎ開校した学校です。

県教育委員会から「進学指導拠点校」の指定を受け、朝課外、土曜課外、学習合宿、習熟度別授業、予備校・大学等連携した進学指導など、様々な取り組みを通して学力の向上を図り、生徒一人一人の進路目標の達成に向けて力を入れています。

＜クラス編成について＞

フロンティアクラスは、国公立大学等への進学希望者のクラスであり、平成23年度の進路実績は、87%が現役で大学短大等への進学をしています。

一般クラスは、多様な進路希望に細かく対応し、基礎基本から学習を積み上げ、進学から就職まで幅広く進路決定をしています。

＜クラブ活動について＞

今年度運動部では、ホッケー部男子がインターハイへ出場し、全国ベスト16。

陸上部、水泳部が東北大会に出場。今年のロンドンオリンピックホッケー競技においては、先輩である三橋亜記選手がオランダ戦で得点をあげるなど活躍しています。

文化部では、吹奏楽部が県大会へ出場。志教育の一環として小学校への出前授業も行っています。

→＜ホームページはこちら＞ <http://tukiko.myswan.ne.jp/>

□（２）石巻好文館高等学校

｜　　＜好文好武で明日を拓き夢実現へ＞

本校の敷地に足を踏み入れ、校舎を見上げると、上記のキャッチフレーズが掲げられています。本校では「高いレベルでの文武両道」を目指し、「知徳合一」の教育を目指しています。

本校生徒たちは、学習面において毎年国公立大進学を初めとする進学実績を上げていますが、部活動でも力を発揮しています。

平成２３年度は、陸上部、空手部、弓道部がインターハイへ、水泳部が東北大会へ出場と、めざましい成果を上げてくれました。平成２４年度には、本校のソフトボール部員１名、弓道部員２名が国体の宮城県代表選手に選ばれています。未だ残る震災の影響で、練習の時間も場所も制約が多々ある中、「震災にも、自分自身にも負けない」という強い気持ちで残した、大きな結果でした。

また、文化部においても、写真部が北海道で行われた「写真甲子園」に２年連続（平成２３年、２４年）で出場しました。平成２４年度には、吹奏楽部、マンドリン部、音楽部の定期演奏会も再開し、生徒たちは日々、生き生きと活動をしています。中でも吹奏楽は、日本テレビの「２４時間テレビ」の中で取り上げられ、日本武道館のステージで演奏するという経験ができました。

このように、本校生徒は活動の場を広げて、それぞれに活躍しています。

「好文好武」を目指す学校生活により、品性と徳が磨かれ、社会を担う志が生まれるなど、勉強以外による人間性の成長も促されています。これが、一人一人の多様な夢の実現への一助となっているのです。

先日創立１００周年式典を終えた生徒たちは、今また、新たな歴史を築いていくための一歩を踏み出しています。

→＜くわしくはこちら＞ <http://koubunkan.myswan.ne.jp/>

□（３）石巻商業高等学校

｜　　＜学校紹介＞

国語・数学・地歴・公民・理科・体育・外国語・芸術・家庭に属する科目は、共通に学習し、商業に関する科目は、類型毎に学習する科目を選択できることが特徴としてあげられます。

商業の各分野に関する基礎・基本的な内容の習得を目指し、さらに実践的・実務的な専門知識や技能を身につけて、多様な個性の伸長を図るようにします。商業のスペシャリストとしての人材の育成を目指し、２年次からは自分の進路や興味・関心を踏まえより専門性を深めるために、大きく「会計類型」と「情報類型」に分かれます。

就職はもちろんのこと各類型とも経済や経営、商学、情報に関する大学進学も可能です。商業高校から大学進学を志す場合、①推薦入学制度、②指定校推薦、③資格取得推薦、④商業科目受験など有利な制度もあり、本校では各種検定資格取得にも力を入れています。

取得できる資格は、簿記検定、基本情報技術者、ＩＴパスポート、情報処理検定、英語検定、電卓・珠算検定、商業経済検定、ワープロ検定、漢字検定などです。高度な資格は、就職や進学『武器』になります。

→＜ホームページはこちら＞ <http://sekisyo.myswan.ne.jp/>

■ 4 コラム ■

高等学校の校長先生，一般の先生，生徒代表などが，「我が校」に対する想い，最近の話題などについて語ります。その高校の新しい魅力が発見できるコーナーです。

□（１）仙台東高等学校

｜ <新ALTと留学生を迎えて>

暑い暑い夏休みが終わり、その暑さが終わらないまま9月の末を迎えました。授業中汗が止まらない日々が続くなか、生徒は授業に真剣に取り組んでいます。

そんな中、新しいALTと留学生を東高校に迎えました。ALTのお名前はテレサ ディンさん。アメリカ合衆国カリフォルニア州のサンノゼ出身、大学を卒業してまだ1年という若い女性です。

また震災の影響で受け入れが延び延びになっていた留学生もイタリア トスカーナからいらっしゃいました。お名前はマティルデ マソッティさん。16歳の運動大好きな女子生徒です。イタリアではフェンシング部に所属していました。本校ではその経験から剣道部に入部し日本の文化を学んでいます。

国際交流を学校の目標に掲げる本校にとってどちらも生徒に良い刺激を与えてくれる先生と生徒が来てくれました。

伝統の東風祭（文化祭）も大成功の中終了し、9月末の前期末考査も終わってほっとしているところです。これから3年生は進路達成に向けて、1・2年生は新人戦などに向けて学習や部活動に取り組む季節となります。生徒の真摯な取り組みとその成果に期待したいと思います。

→<ホームページはこちら> <http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

□（２）中新田高等学校

｜ <勉学と行事・部活動で高校生活を思いっきり楽しもう！！>

｜ ــــــــــــــــ 恵まれた自然環境・施設、盛んな学校行事・部活動>

I 学校行事について（最近おこなわれた行事より）

○ 6／28・29球技大会：クラス対抗で、バスケットボール・バレー・フットサル・ドッジボール・長縄跳びに出場し、種目別優勝・総合優勝を目指して競います。中新田高校は、男女仲が良く、各競技・応援合戦ともにクラスごと一致団結、学校中が大いに燃え上がる行事です。

○ 7／26中学生への学校説明会：今年は、猛暑にも関わらず、おかげさまで加美郡・大崎市をはじめ県内の中学校13校より200名を超える中学生が本校を訪れ、開催することができました。

当日は、スライド・映像等を用いながらの本校の説明（学習・入試関係、進路関係、生徒会活動・行事等）や、本校教員による模擬授業（例：国語「百人一首カルタ大会」等）、さらには部活動見学・体験など盛りだくさんの内容で実施。

参加した中学生のアンケート結果からも「楽しかった」「ためになった」などの声がたくさん寄せられました。

○ 9 / 7・8 中高祭（なかこうさい＝文化祭）：球技大会と並んで本校の目玉行事の1つです。夏休み前からクラスや文化部ごとに企画・準備が行われ、クラスごとのステージ発表（ダンス・演劇等）や企画（今年は「スカイツリー」製作や模擬店・お化け屋敷等）の展示発表が校舎内外で繰り広げられました。

また加美町での宣伝活動（仮装行列）やミス・ミスターコンテスト、吹奏楽部やバンドによる演奏なども行われ、中高生（なかこうせい）の元気・パワー・可能性を思う存分に発揮した2日間でした。

Ⅱ 部活動について

本校では、生徒は運動部・文化部のいずれか1つに必ず加入することになっており、運動部には男女合わせて約60%が加入しています。2つの体育館（バスケット・バドミントン・バレー・卓球）と武道館（空手）、さらには隣に広大な河川敷公園があり、野球・サッカー・陸上・硬式テニス・女子ソフトボールがそれぞれ専用に練習できるスペースを持っているなど、他校にはない恵まれた環境の下練習に励んでいます。特にカヌーは常に全国的な活躍を見せ、中新田高校の名前を全国にアピールしています。

* 部活動の主な活躍（平成24年度）

○ カヌー部：東北大会・男子学校対抗第2位、インターハイ・男子K-1（カヤック1人乗り）優勝、日本カヌースプリントジュニア選手権大会・男子K-4（カヤック4人乗り）優勝

○ 空手道部：東北地区空手道選手権大会・女子組手第3位

○ 吹奏楽部：全日本吹奏楽コンクール予選栗原大崎地区大会・金賞

その他の運動部や文化部も、日々熱心に練習に取り組み活躍しています。勉強と両立させながら、部活動に青春をかけるというのが中高生のスタイルです。

→<詳しくは本校ホームページをご覧ください。>

<http://nakani-h.myswan.ne.jp/>

□（3）水産高等学校 教諭 亀山 貴一

| <東日本夢の架け橋プロジェクト in America >

『水産業は世界から盛り上がってくる！』

これはアメリカで No.1 のマグロ商社を経営されている方がおっしゃっていたことです。

この夏休みに生徒2名を引率し、アメリカはニューヨークへ行ってきました。東日本大震災で被災した水産高校を元気づけたいと、アメリカに住む日本人3名の方が企画してくださいました。

主な内容は、語学研修とニュージャージーにある水産会社でのインターンシップです。ニューヨークでは寿司やラーメンなどの日本食ブームが起こっており、水産業が右肩上がり伸びてきています。生徒たちとそのような状況を、実際に“目で見て”、“食べて”、“就労体験”をしていく中で、世界規模の水産物流通を肌でビリビリ感じることができました。

一方、今日の日本は水産業が低迷し、なかなか夢を見ることができないのが現状です。しかし！アメリカへ渡り、成功された方々のお話を聞くことで、「日本だけを見ているからダメなんだ。もっと世界に目を向けなくては！」と、私も生徒も意識がガラッと変わりました。そして生徒たちは「大学でもっと水産の勉強をして、

いつかまたアメリカに来て、世界を相手に仕事がしたい！」と夢ができたと言ってくれました。

“水産業が低迷している”というのは、その言葉だけが先行しているのではないかと思います。アメリカだけではなく世界中で日本食がブーム。当然、日本でしか手に入らない魚介類、食材がたくさんあります。世界はそれを求めている。だからこそ、日本だけではなく“世界”を巻き込んで事業を展開するチャンスがある。そこで私は「夢のある仕事ができる人材を宮城県水産高校で育てたい」と決意しました。

私たちは震災によって多くのものを失いましたが、世界中の方々が支援してくださっています。また、ありがたいことにこの研修は継続していきたいとも話してくださっています。

“世界を感じたい”という高い志をもっているなら、是非宮水へ！

震災がもたらしてくれたこの研修で得たものを活かし、地域復興の力となれるよう、過去のマイナスを未来のプラスに変えられるよう、生徒とともに頑張っていきたいと思います。

→<世界を相手に勝負したいならコチラ！>

<http://miyagisuisan.myswan.ne.jp/>

■ 5 編集後記 ■

平成24年度も折り返しが過ぎ、残り半分となりました。

先月まで続いていた残暑が去り、ようやく秋らしい天候になってきました。季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので、生活のリズムを崩さないように気を付けて下さい。

ほとんどの高校では9月末に前期末考査が終了し、10月から後期が始まりました。高校生の就職希望者は9月中旬から就職試験が始まり、進学希望者もこれから推薦入試などが始まる時期です。

中学校の受験生の皆さんも来春、希望の進路を達成していることを願っております。

これからも各高校の様々な情報をできる限りお伝えしたいと考えておりますので、「高校教育課 情報メール」をよろしくお願ひします！

◇◇◇高校教育課 情報メール（メールマガジン）◇◇◇

○発行：宮城県教育庁高校教育課

〒980-8423 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8-1

TEL：022-211-3626 / FAX：022-211-3696
